

## アンケート結果の概要

### 1. 市営住宅入居予定者アンケート

#### (1) 調査対象

市営住宅入居予定者（平成 21 年 11 月開催の入居説明会参加者）

#### (2) 回収率

回収 125 票 / 配布 179 票（回収率 69.8%）

#### (3) 調査内容

- ・入居者の現在の家族構成や収入、住まいの状況
- ・入居予定の住宅の状況や申込理由、将来の居住意向

#### (4) 調査結果の概要

- ・市営住宅の申込者の 6 割以上が 50 歳以上と年齢層が高くなっている。
- ・現在の住まいは、民間の木造借家に住んでいる世帯が約半数と多く、現在の住まいで困っていることとして、家賃が高いことや寒いこと、狭いことが挙げられている。
- ・世帯の年収は 200 万円未満が約 7 割と多く、現在の住まいの家賃に負担を感じている世帯が 8 割超いる。
- ・市営住宅への入居申込み理由は、家賃が安いことが最も多く、次に市が管理していて安心であるとの回答も 4 割あった。
- ・将来も市営住宅に住み続けたいという回答が 7 割弱あった。

### 2. 民間賃貸住宅に関するアンケート

#### (1) 調査対象

社団法人北海道宅地建物取引業協会札幌支部所属会員

#### (2) 回収率

回収 306 票 / 配布 1,200 票（回収率 25.6%）

#### (3) 調査内容

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理物件の空室状況</li> <li>・高齢者対応の状況</li> <li>・民間賃貸住宅に対する入居者のニーズ</li> <li>・入居拒否の状況</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅に関する制度の認知度</li> <li>・市営住宅についての自由意見</li> <li>・民間住宅についての自由意見</li> </ul> |
|---|---|

#### (4) 調査結果の概要

- ・民間賃貸住宅で空室となっている物件は、築 20 年以上 30 年未満のものが最も多く、空き理由については、築年数が経過していること、風呂・トイレなどの住宅設備が古いことが挙げられている。
- ・高齢者対応は、ほとんどの建物で行われておらず、資金面での問題や入居促進につながるかわからないといった問題から、改修意欲は低い。
- ・低所得者や高齢者等の入居に不安があり、入居を断ったことがある事業者が多い。
- ・住宅に関する制度の認知度はあまり高くない。
- ・市営住宅については、増やすべき、減らすべきという双方の意見があった。